

♪「第 23 回 平山アコーディオン教室 演奏発表会」ぶらり訪問記♪

日時 2011年9月24日(土) 13:00 開演
会場 川崎市中原市民館 ホール

平山アコーディオン教室は生徒数が多いことでも知られていますが、若い指導者が着実に育っていることが教室の大きな財産になっていると思います。

プログラムを見ても30名の方が独奏しました。最年少者は小学4年生です。初めに主宰者の平山尚氏より、緊張のあまり思わぬアクシデントが起きるかもしれませんが、温かく育てていただきたいと挨拶がありました。会場から頑張れ！と声が掛かり、演奏者も思わず“はい”と答える場面もあり暖かい雰囲気で行われました。

いつも感心するのは、足が不自由だったり、ご高齢だったりの方以外はほとんど立奏でしかもみなさん暗譜で弾くことです。小学4年生もちろん同じです。ですから最初から立奏で練習するのでしょう。習いはじめて9ヶ月の男性も「シンプル・タンゴ」を暗譜で演奏しました。演奏は確かにたどたどしいのですがその意欲に感動します。

変わったところでは、琴とのアンサンブル(上の写真)アコーディオンがメロディーを弾き、琴が伴奏を受け持っていました。



第1部最後“あんざいのりえさん”のパフォーマンス(タップ付きで枯葉を演奏:写真は最後の決めのポーズ)や、アンコールに



応えて客席での「愛の賛歌」(下の写真)などはプロの味で会場を楽しませ



ます。こういうプログラムが組めるのも平山教室の演奏会の楽しみの一つです。

第2部では、演奏者それぞれに曲選びの想いがあって、讃美歌を弾きながら歌えるようになりたいとか、人の心に残る演奏が出来たらいいなとか魅力ある音づくりにふだんから心がけて練習している様子が伝わってきます。最後は、7人での合奏(下の写真)でした。30人での大合奏も聴いてみたくくなります。(乙津:記)



